

岐阜市の 埋蔵文化財

金華山・長良川・轢山遺跡群・岐阜城下町遺跡展望

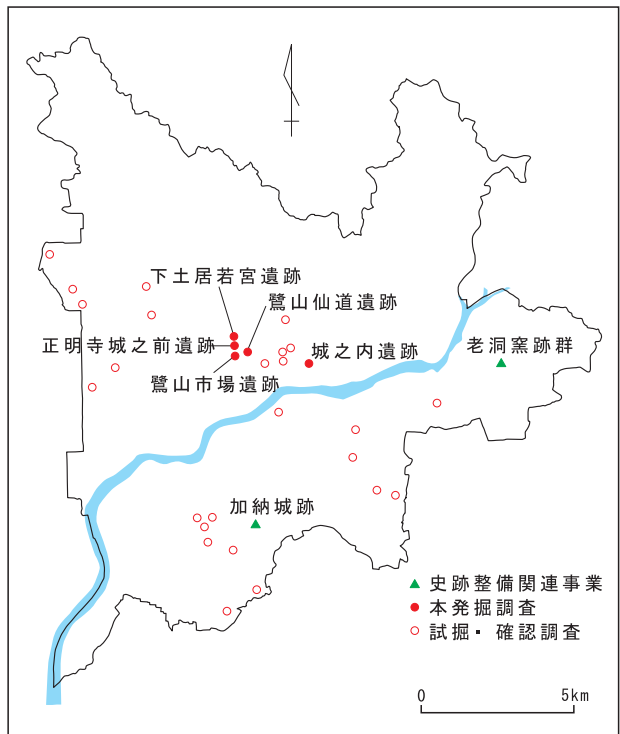
はじめに

私ども埋蔵文化財担当者は、埋蔵文化財（遺跡）を説明する時、縄文時代の村の跡とか古墳時代の墓とか口にします。これは一面の事実ですが、正確ではありません。

今、人が住んでいる場所はたいてい大昔から現代に至るさまざまな生活がありました。この営みの総体こそが埋蔵文化財の真の姿であり、埋蔵文化財は土中に伝えられた土地の記憶と言い換えることもできるでしょう。

埋蔵文化財を理解する上で一番大切なことのひとつは、それがその場所において、現代に至る人々の営みを直接に教えてくれる情報源だということです。この情報は壊されて断片的になっていますが、丹念に読み解くことで、文字として記録されなかった地域の過去を再生できる潜在力を秘めています。

岐阜市では埋蔵文化財保護行政の推進により、これまで知られていなかった多くの事実がわかってきました。例えば、戦国時代の岐阜市に点々と場所を変える都市遺跡が多数存在し、それが今の町の祖形になったと予想できたことは、埋蔵文化財調査の大きな成果と言えるでしょう。今後も土地の記憶の再生に努め、わかったことは地域にPRし、住民といっしょに未来のまちづくり等への活用を考えていきたいと思えます。



平成 14 年度の調査場所



体験発掘(教育研究所研修講座)



鷺山遺跡群現地公開

平成 14 年度の埋蔵文化財調査事業

平成 14 年度には、平成 13 年度同様史跡整備関連調査、発掘調査、試掘・確認調査を実施しました。史跡整備関連調査では加納城跡二の丸の発掘調査を 2 か所で実施しました。また、本丸内で昭和 50 年度以降実施してきた発掘調査の成果をまとめた「発掘調査報告書」と加納城跡整備 PR 用のパンフレットを作成しました。老洞窯跡群では平成 12・13 年度調査の補足として磁気探査と分布調査を行いました。本発掘調査は、鷲山・下土居土地区画整理事業に伴う発掘調査を縦続して行いました。試掘・確認調査は、開発に先立ち遺跡の内容を把握することを目的として鷲山第二土地区画整理事業関連の大規模な試掘調査などを市内全域で実施しました。

史跡整備関連調査

加納城跡(二の丸)

所在地 岐阜市加納二之丸

調査期間 4 次：平成 14 年 4 月 22 日

～平成 14 年 4 月 26 日

5 次：平成 14 年 7 月 22 日

～平成 14 年 9 月 6 日

調査面積 4 次(22.4 m²)、5 次(33.8 m²)

調査概要 史跡整備の基本構想が平成 14 年度末に完成し、整備事業が一層進展しました。加納城跡関係絵図調査も全国的に実施しています。埋蔵文化財関係調査では加納城(二の丸)において史跡整備の基礎資料を得るための調査を 2 度(4 次・5 次)行いました。4 次調査では二の丸北東部で南北方向土塁の一部や二の丸の地面などを確認しました。5 次調査は二の丸西北の出入り口付近で行い、出入り口部の土橋や堀跡、石垣などを確認しました。

昭和 50 年度以来 9 年にわたって実施してきた史跡整備に先立つ本丸内の発掘調査をまとめた「報告書」と PR パンフを作成しました。今後これらを活用し、加納城整備事業の PR を進めていきます。



加納城跡二の丸 4 次発掘風景



加納城跡二の丸 5 次発掘風景



加納城報告書と PR パンフ

史跡^{おいぼら かまあと}老洞窯跡群調査

所在地 岐阜市芥見5・6丁目

調査期間 平成15年1月20日

～平成15年3月14日

調査面積 27,200 m² (分布調査)

2,000 m² (磁気探査)

調査理由 史跡整備計画

調査概要 史跡整備の基礎資料を得るために昨年度までの補足として磁気探査、分布調査を実施しました。



老洞窯跡群磁気探査

本発掘調査

鷺山遺跡群 (正明寺城^{しょうめいじしろのまえ}之前遺跡・鷺山市場^{さぎやま いちば}遺跡・鷺山仙道^{さぎやま せんどう}遺跡・下土居若宮^{しもつちい わかみや}遺跡)

所在地 岐阜市鷺山・下土居地内

調査期間 正明寺城之前遺跡 平成14年6月13日～平成15年 3月14日

鷺山市場遺跡 平成14年7月22日～平成14年10月28日

鷺山仙道遺跡 平成14年6月17日～平成15年 3月14日

下土居若宮遺跡 平成14年9月 9日～平成14年10月23日

調査面積 正明寺城之前遺跡 1,867 m²、鷺山市場遺跡 416 m²、

鷺山仙道遺跡 68 m²、下土居若宮遺跡 95 m²

調査理由 土地区画整理事業 (道路建設)

調査概要 昨年度に続いて4遺跡5か所で発掘調査を実施し、貴重な発見がありました。正明寺城之前遺跡では一つの穴の中から古代 (8世紀) 固形塩製作用の容器である「焼塩土器^{やましお どき}」が約 1,000 点まとまって見つかりました。長良川や木曾川沿いの拠点集落遺跡では以前からこの種の土器が多数見つかっていましたが、まとまって1か所から出土したのは東海地方ではこの遺跡が初めてです。土器が見つかった穴は底が平らで固く、炭などが堆積していたことから、固形塩製作に関連する遺構の可



正明寺城之前遺跡戦国時代池状遺構

能性があります。近くには倉庫風の建物跡も見つかっていることから、想像をたくましくするなら、近くに塩などの物資が持ち込まれる場があり、ここはそれと密接な関連のある物資流通の要の場所、例えば「市場」的な空間であったのかもしれませんが。この遺跡では、少し高い部分から古代の竪穴式住居が多数見つかり「市場」的な場所と集落の部分がわかってきます。戦国時代には屋敷を区画する溝が見つかり、溝中から多数のかわらけ(素焼きの皿)と共に漆器碗、下駄、^{まげもの}曲物といった木製品、陶製狛犬などが出土しました。かわらけには墨で文字が書かれたものもありました。また、区画溝から少し離れた場所で池状遺構や石組みの井戸なども見つかりました。池状遺構からは瀬戸美濃産や中国製の碗・皿類が大量に出土しました。

鷺山市場遺跡では2か所で調査を実施し、いずれの地点でも古墳時代の竪穴住居跡や溝、穴、古代の竪穴住居跡、戦国時代の区画溝、竪穴状遺構などが見つかりました。古墳時代の竪穴住居跡からは蒸し器の下釜として使った胴の長い土器(長胴甕)がカマドに捨てられた状態で出土しました。

鷺山仙道遺跡では2か所で調査を実施しました。南側の調査区では古代の竪穴住居跡、中世・戦国時代の柱穴跡・区画溝・穴などが見つかりました。北側の調査区は昨年度に銅製品^{ちゅうぞう}鑄造関連遺構が多数見つかった地点に隣接しており、戦国時代の柱穴列や溝と共に長辺5m程度の穴(性格不明、銅製品鑄造関連か?)が見つかり、内部から焼けた土や木製品などが出土しました。

下土居若宮遺跡では中世の溝、穴などが見つかりました。



正明寺城之前遺跡古代焼塩土器出土穴



正明寺城之前遺跡古代焼塩土器出土状況



鷺山仙道遺跡戦国時代ゴミ捨て穴



鷺山市場遺跡古墳時代カマド・土器

試掘・確認調査

開発に先立って遺構の有無などを確認するための調査を 29 遺跡 41 か所で行いました。黒野城下町遺跡は初の試掘調査でしたが、伝屋敷地内の試掘では城下町の存在を示す遺構・遺物は見つかりませんでした。城之内遺跡では東端部で実施した確認調査によって、古墳時代前期の竪穴住居跡1軒、9世紀前半の竪穴住居跡1軒などが見つかりました。古墳時代の住居跡からは煮炊きに使った土器が多数まとまって出土しました。鷺山仙道遺跡・鷺山^{せみ}蟬遺跡では鷺山第二土地区画整理事業に先立つ試掘調査を各所で実施し、古代～戦国時代の遺構・遺物が多数見つかりました。



城之内遺跡古墳時代土器出土状況



鷺山蟬遺跡(区画整理)試掘状況

遺跡名	調査期間	開発事業名
岩田坂古墳群	平成14年4月5日	支院と集会所建設
蝮塚古墳	平成14年4月10日	道路改良工事
正明寺城之前遺跡	平成14年4月15日・平成15年3月11日	事務所建設・事務所付住宅建設
中西郷A遺跡	平成14年4月18日	住宅建設
八代遺跡	平成14年5月2日・9月18日	住宅建設・擁壁築造
城之内遺跡	平成14年5月17日～23日・7月8日・10月7日・10月18日・平成15年1月24日・2月12日～3月7日	集合住宅建設・住宅建設・事務所建設・店舗建設
上西郷A遺跡	平成14年5月22日	砂利採取
福光花ノ木町遺跡	平成14年5月29日・9月27日・平成15年1月17日・1月28日～31日	住宅建設
鷺山仙道遺跡	平成14年5月30日・10月22日～11月2日	住宅建設・土地区画整理
北一色A遺跡	平成14年6月10日	住宅建設
又丸遺跡	平成14年6月25日	住宅建設
中西郷B遺跡	平成14年6月28日	分譲住宅建設・住宅建設
長森岩地遺跡	平成14年7月17日	住宅建設
茜部本郷A遺跡	平成14年8月28日	住宅建設
茜部寺屋敷遺跡	平成14年8月29日・10月8日	住宅建設
黒野城下町遺跡	平成14年9月9日	共同住宅建設
福光東A遺跡	平成14年9月10日	住宅建設
岐阜城下町遺跡	平成14年9月12,13日・10月2,3日	住宅建設
前一色遺跡	平成14年9月25日	住宅建設
六条遺跡	平成14年10月4日	住宅建設
鷺山蟬遺跡	平成14年10月15日・11月6日～平成15年1月31日	住宅建設・土地区画整理
茜部辰新遺跡	平成14年10月17日・10月30日	住宅建設
黒野洞遺跡	平成14年10月23日	住宅建設
太田遺跡	平成14年10月24日・11月14,15日	住宅建設
東改田再勝遺跡	平成14年11月26日	共同住宅建設
六条東遺跡	平成14年11月28日	住宅建設
六条南遺跡	平成14年12月5日	墓地造成
六条北遺跡	平成14年12月12日	共同住宅建設
加納城跡(二の丸)	平成14年4月22日～26日・7月22日～8月2日・9月2日～6日	史跡整備

有料刊行物(発行報告書)案内

(送料一部)

岐阜市埋蔵文化財発掘調査報告書 (西山4・5号墳、加納城本丸東南濠跡、瑞龍寺山山頂遺跡、上城田寺長屋1号墳)	昭和60年3月発行	2,000円	310円
椿洞古墳群 (公共急傾斜地防災事業に伴う緊急発掘調査)第2版	昭和62年3月発行	1,500円	310円
寺田・日野1 (一般国道156号岐阜東バイパス建設に伴う緊急発掘調査)	昭和61年7月発行	9,000円	1セット 770円
日野2 (岐阜市日野土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査)	昭和62年3月発行	1,000円	
城之内遺跡 (東長良中学校建設に伴う岐阜大学跡地の緊急発掘調査)	平成2年3月発行	3,400円	310円
千畳敷 (織田信長居館伝承地の発掘調査と史跡整備)	平成2年3月発行	6,400円	510円
椿洞遺跡 (岐阜市民公園整備関連事業)第2版	平成4年3月発行	6,200円	450円
上城田寺古墳群	平成6年3月発行	5,000円	450円
御望遺跡 (市道西郷1号線建設に係わる発掘調査の記録)	平成7年3月発行	6,000円	450円

[購入方法]

希望する報告書名を明記の上、現金書留封筒に代金と送料を入れて下記住所まで送ってください。

〒500-8833 岐阜市神田町1丁目11番地 岐阜市教育委員会 社会教育室 TEL(058)265-4141(内6357)

トピックス

戦国時代の陶製狛犬

鷺山遺跡群の内、正明寺城之前遺跡の発掘中に戦国時代の溝の中から陶製の狛犬が見つかりました。高さ31.5cmある立派なもので、残念ながら顔の上部などが欠けていますがほぼ全体の形がわかります。全面に黒褐色の釉が掛けられ、口を開いて舌を出す阿形のもので、形などの特徴から15世紀後半頃に瀬戸の窯で焼かれたものと推定できます。これは信者が寄進し、祠のなかに収めて神様を守る役目を果たしたものと考えられます。発掘調査で陶製狛犬が見つかることはきわめて珍しく、近くに祠などがあったと想像できます。いったい誰が何のために寄進したものでしょう？



狛犬写真(白い部分は想像復元です)

岐阜市の埋蔵文化財 岐阜市埋蔵文化財ニュース12
発行 岐阜市今沢町18番地 岐阜市教育委員会
平成15年3月発行
印刷 岐阜市西野町2丁目14番地 舟橋印刷株式会社

ぎふじょうかまちいせき
岐阜城下町遺跡 - 宗教と権力の町 -

岐阜城下町遺跡は長良川の左岸扇状地扇頂部付近に位置し、岐阜城のあった金華山の西側に広がります。今も古い町並みを各所に残し、近世岐阜町の面影を伝えています。明治時代頃まで町の周囲は「総構」と呼ばれる土塁と堀で囲まれていました。齊藤道三・織田信長による国盗りの舞台として知られていますが、近年の発掘調査によって、鎌倉・室町時代頃に山麓部に寺院が存在し、戦国時代に齊藤氏や織田氏などの歴代城主の居館に替わったことや山麓部以外に人々が多く住むようになったのは戦国時代頃であることなどがわかってきました。



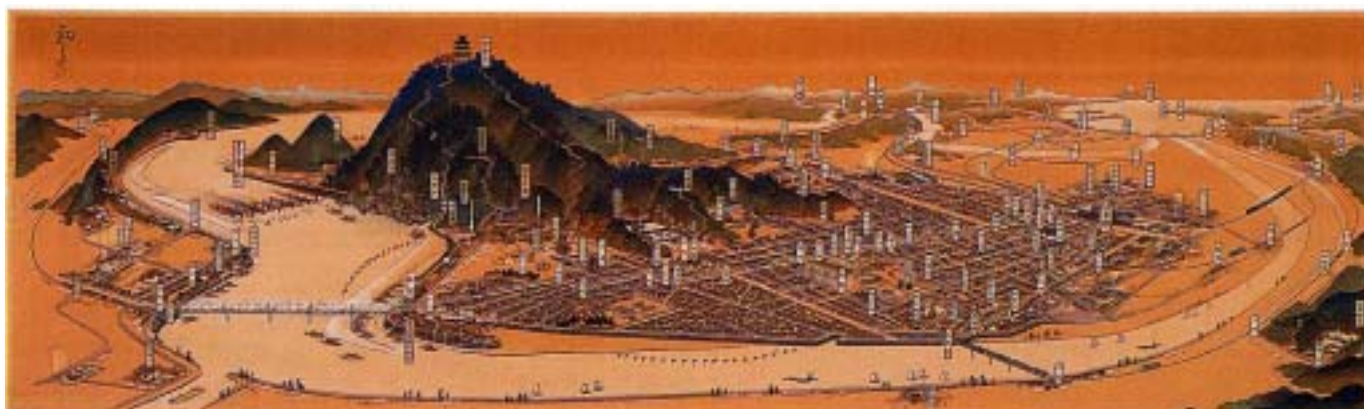
岐阜城千畳敷遺跡(3次)出土中国製磁器



岐阜城千畳敷遺跡整備状況



岐阜城下町位置図



岐阜市鳥瞰図(吉田初三郎の絵による・岐阜市歴史博物館蔵)